

令和元年度 第 8 回 第2部会 (協働, 健康・福祉など)		会議概要
日 時	令和元年12月9日(月) 10:00～11:45	
会 場	中央区役所 5階 対策室1	
出席委員	渡邊紘一委員, 青山委員, 大竹委員, 田辺委員, 渡邊隆幸委員, 飯田委員, 松山委員	
欠席委員	藤瀬委員, 内藤委員	
関係課	健康福祉課…宮川係長, 木伏係長	
事務局	地域課…中谷係長, 田島主事	
議 題	「自治会長・町内会長 感謝の集い」のアンケートについて	
会議内容及び決定事項等	<p>令和元年11月26日に実施された「自治会長・町内会長 感謝の集い」での講演会に関するアンケートについて、地域課から集計結果の報告がありました。</p> <p>〈主なアンケート結果〉</p> <p>◇所属団体における課題, 気になっていること</p> <p>— 「人材不足」「後継者問題」や「若い世代の参画」に関する意見が多い。</p> <p>◇今後聞いてみたい講演のテーマ</p> <p>— 「少子・高齢化」や「具体的事例」に関するものが多い。</p> <p>委員からは、講演に関するだけでなく、表彰者の出席率をあげたいといった意見もありました。</p>	
議 題	提案型協働事業募集におけるチラシ案の最終検討及び配布先について	
会議内容及び決定事項等	<p>前回の部会での修正意見及び事務局による調整が反映されたチラシの最終確認を行いました。</p> <p>委員からは、イラストの細かい修正や、文言の追加など、校了に向けた具体的な意見が挙がり、今回の修正事項が反映された募集チラシをもって、校了とすることとしました。</p> <p>また、募集チラシの配布先を検討し、各コミュニティ施設や公民館、福祉関連の各センターなどを候補としました。事業者が手に取る機会がより見込まれる施設を優先しながら、12月23日以降配布の予定です。さらに、広報を区だよりや区HPにより行うこととしました。</p> <p>次回の部会は、申請状況に応じ、申請者との面談実施、あるいは今後のスケジュール及び面談内容の検討を行う予定です。</p>	
その他		

令和元年度 中央区自治会長・町内会長感謝の集い アンケート集計結果

回答対象者	136	有効回答数	110	回収率	80.9%
1. 属性	自治会・町内会	96	87.3%	※	
	地域コミュニティ協議会	28	25.5%	※	
	自治協議会委員	5	4.5%	※	
	無回答	2	1.8%	※	
※複数回答のため重複あり					
2. 年代	20代	0	0.0%		
	30代	1	0.9%		
	40代	0	0.0%		
	50代	2	1.8%		
	60代	25	22.7%		
	70代	64	58.2%		
	それ以上	16	14.5%		
	無回答	2	1.8%		
3. 開催場所 (市民プラザ)	良かった	60	54.5%		
	どちらかという良かった	23	20.9%		
	ふつう	23	20.9%		
	どちらかという良くなかった	1	0.9%		
	良くなかった	0	0.0%		
	無回答	3	2.7%		
4. 開催時期 (11月下旬)	良かった	33	30.0%		
	どちらかという良かった	37	33.6%		
	ふつう	33	30.0%		
	どちらかという良くなかった	7	6.4%		
	良くなかった	0	0.0%		
	無回答	0	0.0%		
5. 表彰式	良かった	33	30.0%		
	どちらかという良かった	21	19.1%		
	ふつう	43	39.1%		
	どちらかという良くなかった	10	9.1%		
	良くなかった	0	0.0%		
	無回答	3	2.7%		
6. 講演会					
①講演内容について	良かった	23	20.9%		
	どちらかという良かった	24	21.8%		
	ふつう	36	32.7%		
	どちらかという良くなかった	14	12.7%		
	良くなかった	7	6.4%		
	無回答	6	5.5%		
②講演時間について	長かった	43	39.1%		
	ちょうど良かった	57	51.8%		
	短かった	2	1.8%		
	無回答	8	7.3%		
③今後聞いてみたい講演会のテーマ 別紙のとおり					
7. 所属団体における課題や気になっていること 別紙のとおり					

問6 講演会 ③今後聞いてみたい講演のテーマ

自由記載

- ・ 年間の役員会の回数はどれくらいがよいか。報酬はどれくらいがよいか。
- ・ 高齢化町内会をどう進めるべきか。
- ・ 地域の連絡体制。
- ・ 古物商から終活している人の心得を聞きたい。
- ・ 高齢化社会。
- ・ 人材がいないので引き出し方法。
- ・ 防災関係。
- ・ 独立講演ではなく、他イベントとあわせて表彰式としてはどうか。効率化にもなる。
- ・ 講演ではなく、地域課題を考えるため、小グループでのディスカッション。
- ・ 空き家対策について。
- ・ 新潟市政の課題と現在の解決策、そこに自治会がどう関われるか。
- ・ 少子化についての行政の取り組み、何年後にはこうなるのではなく、こうするという政策が聞きたい。
- ・ 地域（自治会活動）の具体例、それを推進していく努力と取り組みなどを知りたい。
- ・ 町内会、自治会の会長として苦労してきた人の話を聞きたい。
- ・ 各自治会の活動状況を講演してほしい。
- ・ 高齢化と同時に少子化についても聞いてみたい。
- ・ 100歳時代について。特に健康面。心と体。
- ・ 新潟市古町地域（中央区）の具体的な街づくり、市長のビジョン、高齢化している人々の幸せ感の街計画。
- ・ 具体的事例。
- ・ 人材づくり。
- ・ 高齢者対策。高齢者と若人の絆。LINE講座。
- ・ キャッシュレス時代を生き抜くコツ。（中央区のキャッシュレス化（店舗など）はどこまで浸透しているのか。）
- ・ 高齢化社会における町内会の役割について。
- ・ しもまち及び古町の活性化についての施策。自治会活動の手引きの解説。
- ・ コミュニティに関する前向きな提言が必要。
- ・ 通信ネットワークを使っただけの犯罪予防について聞きたい。
- ・ 料理や歴史などの講義。
- ・ 他自治会長との意見交換。

問7 課題 所属団体における課題、気になっていること

自由記載

- ・ 来年度から役員をする予定だが、町内はお年寄りばかりで心配だ。
- ・ 町内会も高齢化で役員のなり手がいない。小さな町内会は合併も考えなければ成り立っていない。
- ・ 高齢者と町内会の役割、特に地震、台風、火災等、災害時の対応。
- ・ 町内会の活性化と町内編成のあり方について。
- ・ 町内会長の輪番制（1年任期）からくる、町内会長の集まりであるコミ協の弱体化が問題である。
- ・ 身寄りのいない独居老人を地域に引き出す方法について。
- ・ 会員の減少。
- ・ 自治会にもっと若手の役員が入ってほしい。
- ・ 自治会活動に参画する人材不足。若い人の無関心さ。
- ・ 自治会役員のなり手がいない。本日の講演のようなことはいろいろやっているが、なかなか難しい。
- ・ 役員のなり手がいない。特に町内会長。
- ・ 役員のなり手がいない。役員自身積極性が薄い。
- ・ 自治会のリーダーを引き受けようとする人がいない。自治会の存在意義を考えようとしていない人が増えている。
- ・ 自治会長の交代要員がいない。
- ・ 役員のスキルアップ。
- ・ 後継者不足。高齢化が進んでいる。
- ・ 若年層の方が少なく、役員になっていただくことができない。高齢者の役員のみで年々運営が難しい。
- ・ コミ協内の問題。自治会・町内会の差が大きすぎる。
- ・ 町内の高齢化により、会長を含む役員の選出が大変難しくなっている。
- ・ イベントの参加率が悪いので悩んでいる。
- ・ 後継者のこと。
- ・ 高齢者の一人暮らしや、高齢者だけの世帯等の見守り、現状把握をどうするか。民生委員との関係、情報交換が必要。
- ・ 女性役員が消極的であること。頼んでも断られてしまう。
- ・ 町内活動をもっと計画に見える化して進めていきたい。
- ・ 空き家対策で解決できない。
- ・ 定年延長により後継者がいない。労働環境の悪化により共通の時間が取れない。
- ・ 高齢者社会の中での防災対策。子供の安全をどう守るか。
- ・ 世代交代。
- ・ 狭い社会であるが、どうしても好き嫌いがある。イベント等を企画してもどうしても不公平感が生まれる。
- ・ 自治会への参加意識が薄い、会への参加者が居ない。決まった人だけで広がらない。
自分自身、現職時、会社役職がら休日がなく、夜も遅く、参加できなかった。町内に住んでいる息子世帯も休みは子供の部活、夜も仕事で深夜帰宅なので、他世帯同様に気兼ねして誘えない。
- ・ 役員の交代がどこでもうまくいかない。会長は特にやろうとする人が少ない。いろんな手法があるはず。

<福祉分野の事業提案を募集>

地域でつくろうささえ愛支援事業 ~赤ちゃんからお年寄りまで~

福祉分野の取組みを支援します!!

中央区自治協議会の第2部会では、地域での支えあいづくりを目的とした、赤ちゃんからお年寄りまでの幅広い世代を対象とする活動を支援します。

ひとり暮らしの高齢者支援



認知症の理解と啓発講座の開催



たとえば、こんな取組みに...

親子の居場所や子育て講座の開催



障がい者の社会参加をすすめる活動



皆さんが考えた、福祉分野の取組みを自治協議会委員がサポート!

サポート例

講師の紹介やノウハウの提供、事業実施に向けた相談、区役所や地域とのつなぎ、必要経費の相談や助成金情報の提供など

応募資格

【対象団体】

令和2年2月1日～令和2年12月末日までの間に中央区民を対象に、中央区内で福祉分野の地域課題に資する事業の実施を考えている団体。(法人格の有無は問いませんが、非営利団体に限ります。)

【申請受付期間】

令和2年10月31日まで

【対象とならない事業】

- 申請前に実施した事業や、継続的に実施している事業
- 政治、宗教などに関するものや、公の秩序または善良の風俗に反する事業

選定方法

書類審査及び面談により選定します。申請書提出後に事務局よりご連絡します。面談では、協働できる内容かどうかの確認やサポートできる経費を決定します。

事業費

1団体あたり上限10万円の範囲でサポート
※ただし、1品あたり3万円以上の備品は対象となりません。

提出書類

申請書(裏面)
※審査及び面談時に追加書類を求める場合があります。

地域でつくろうささえ愛支援事業 ～赤ちゃんからお年寄りまで～ 申請書

●以下を必ずご確認ください。申請をお願い致します。

- サポートする経費は面談の上、決定します。
なお、他の補助金を受けている場合は、経費をサポートする対象になりません。
- ご提出いただいた個人及び団体の情報は、本事業を運営する目的の他に使用しません。
- 申請書の返却はいたしません。



総事業費に達した時点で募集は締め切りますので、お早めに申請をお願いします。

団体名、所在地及び連絡先	
団体名	所在地 〒
担当者または代表者の氏名及び連絡先	
氏名	電話番号 FAX
	Eメール
事業名	
事業実施期間	
①事業概要／②解決しようとする地域課題 ※別紙による提出可。	
希望する自治協委員のサポート(地域とのつなぎや講師の紹介など)	必要経費(想定される支出項目と概算金額を記入)
	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ● ● <p style="text-align: right;">¥ _____</p> <p>※どの程度のお金が必要かわからない場合は空欄で結構です。 サポートする経費は面談の上、決定します。</p>

問合せ
申込先

中央区自治協議会(事務局:中央区役所 地域課企画グループ)

■電話 025-223-7023 ■FAX 025-223-3660 ■メール chiiki.c@city.niigata.lg.jp

■新潟市中央区ホームページに申請書を掲載しています。 [地域でつくろうささえ愛支援事業](#)

検索